



## 小さな思いやりが 集まって

好文学園女子高等学校

1年

かい  
甲斐 はるひ

私は、いつも登下校に利用している御幣島駅につながる歌島橋地下道を調査しました。いつも何気なく利用していますが、目をこらすといろいろな工夫がされていました。

まず、御幣島駅につながる地下通路の入口を調査しました。階段には手すりが設置されていて、手すりの端には「地上階」「地下階」と点字で書かれていて、目の不自由な方にも分かりやすいようになっています（写真1）。また、エレベーターもあり、車いすの方や階段を使うのが難しい方でも、安心して利用できるようになっています（写真2）。

階段を下りると点字ブロックが続いています（写真3）。この点字ブロックは御幣島駅まで続いていて、目が不自由な方が足の裏や白杖で、進行方向や注意すべき場所を知ることができます。

少し進むと、案内の看板があります（写真4・5）。出口を出ると何があるかが書いてあるのですが、英語での表記もあり、日本語が読めない外国の方でも分かりやすくなっています。横には点字でも書いてあります。

さらに進むと「けいさつきんきゅうつうほうそうち」とひらがなで書かれたボタンがありました（写真6）。ボタンを押すことで警察に通報できる装置で、スマホを持っていない子どもなどが、危険を感じた時すぐに通報

できるようになっています。

歩いていると、スピーカーから「ここは地下通路です…」とくり返しアナウンスが流れているのが聞こえてきました。目が不自由な方などにも今どこにいるのかが分かりやすくなっています（写真7）。

私は、今回の調査を通して目が不自由な方、身体が不自由な方、子ども、外国の方など、いろいろな人が利用しやすいように、いろいろな工夫がされていることに気付きました。大きな工夫から小さな工夫まで、普段何も考えずに過ごしていると気付かないものもあるかもしれませんが、この小さな「思いやり」から、誰もが暮らしやすいまちができている、ということを忘れずに過ごしていきたいです。



写真1



写真2

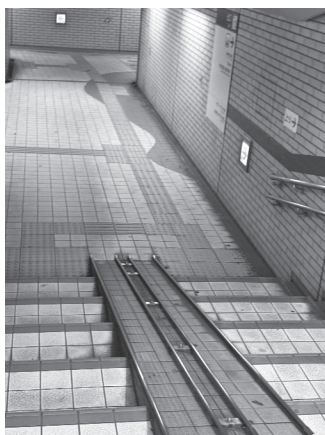


写真3



写真4

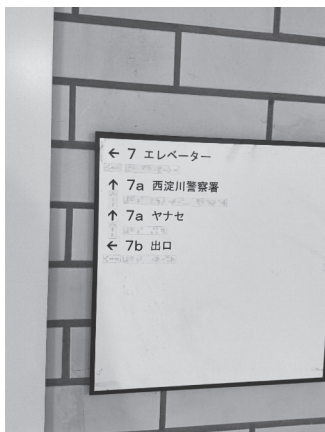


写真5



写真6



写真7